

2022年5月26日

各 位

株式会社福井銀行

オンラインデータ連携基盤を活用した業務アプリ相互流通スキームの立ち上げについて

株式会社 福井銀行（頭取 林 正博）は、共同化グループの枠組みを越えたシステム運用の効率化を検討する「地銀共同センター・MEJAR システム・ワーキンググループ（以下、「CMS-WG」）」の取組みの第1弾として、オンラインデータ連携基盤／SEHub[※]を活用した業務アプリ相互流通スキーム（以下、「相互流通スキーム」）を立ち上げましたので、お知らせいたします。

DXの加速、コロナ禍による非対面取引へのシフトなど、地方銀行を取り巻く環境が大きく変化するなか、各行ともにデジタルへの取組みを強化しております。一方、システム投資が年々と増加傾向となっており、長引く低金利による収益低下により、システムコストの削減が各行共通の課題となっております。

そこで、今回、デジタル分野でのサービス拡充を効率的に実現するために、CMS-WGの参加銀行、および株式会社NTTデータ（以下、「NTTデータ」）を中心として、相互流通スキームの立ち上げに至りました。

なお、相互流通スキームには、CMS-WG以外の銀行も幅広く参画をいただく予定です。

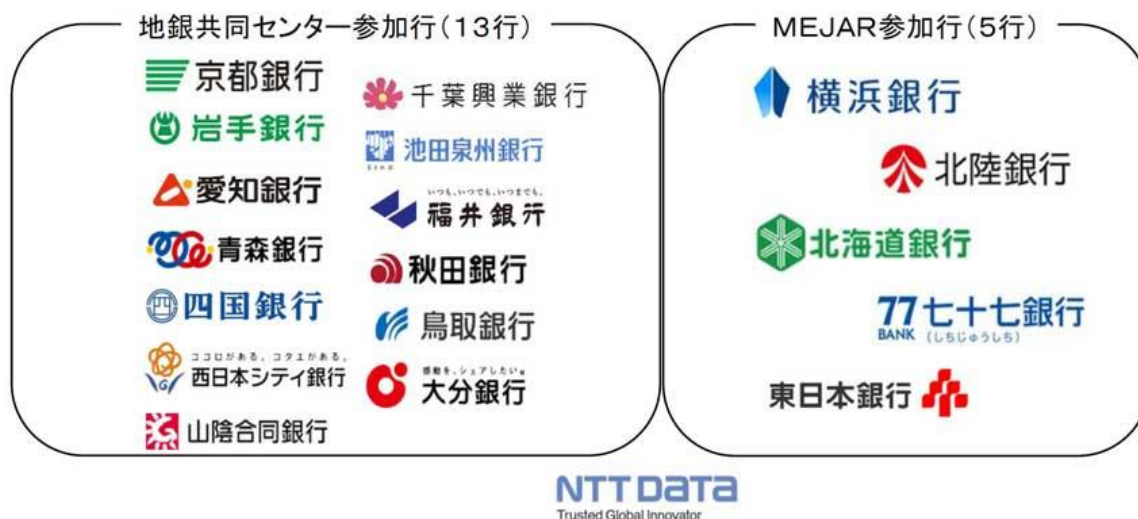
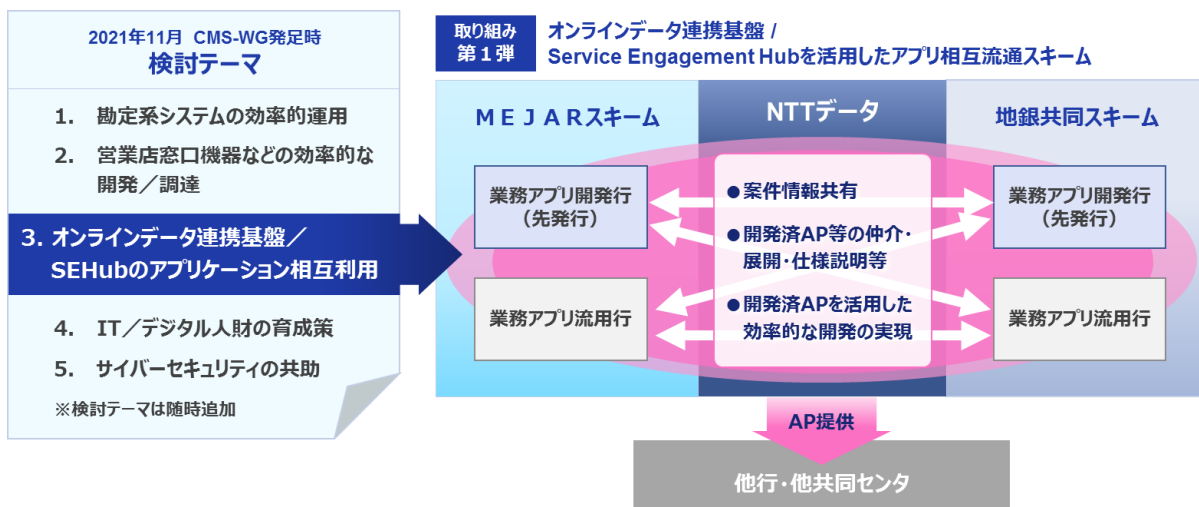
※オンラインデータ連携基盤、SEHubは、地銀共同センター及びMEJARのそれぞれで構築した外部サービスや銀行システムと容易にAPI連携できる基盤となります。

記

1. 【相互流通スキームの概要】

- 両センターの先発行で開発済みの業務アプリ（約20業務）について、業務アプリ利用希望行（流用行）による流用が可能。流用行は、先発行の事務を踏襲することで、短期間かつ低コストで流用が可能。
- 新たな業務アプリの両センターでの共同検討の実施。
- 両センターに加え、他行・他共同センター（CMS-WG以外の銀行）へのアプリ提供を実施。

福井銀行は今後、地銀共同センターおよびMEJARの参加行との共同検討を通じ、お客さまに付加価値の高いサービスを提供するとともに、さらなる利便性向上とコンサルティング体制強化を実現してまいります。



2. 該当するSDGsの目標



【Fプロジェクト サステナビリティ基本方針】

Fプロジェクトは、持続可能な地域社会の実現に向け、気候変動等の環境問題など地域を取り巻くさまざまな課題解決に誠実かつ公正に取り組み、社会価値・経済価値・企業価値の向上を目指してまいります。

以 上